

てるきな通信



発行責任者:公明党 さいたま市議会議員団 てるきな弘志 さいたま市中央区下落合4-10-14-401

12月定例会 活動報告



■保健福祉委員会で質問

12月議会より

令和元年12月定例会が行われました。11月27日から12月20日まで12月定例会が開催され、台風19号により被災した都市公園の復旧や農業支援を含む補正予算の審査を行なったほか、令和元年台風19号災害対策調査特別委員会を設置し、被害の早期復旧に向けて審議しました。

公明党さいたま市議団一般質問より

●避難所のトイレに手すり、簡易型エアベッドの導入を提案

答弁 車椅子に対応した組み立て式トイレなどの整備により対策を講じています。また、障がい者など要配慮者のためエアマットを3万5,900枚備蓄しています。

●避難所に液体ミルクの備蓄を提案

答弁 避難所防災倉庫での備蓄は保管の観点から難しいが、拠点備蓄倉庫では保管可能であり、検討を進めています。

●交通弱者の移動手段として AI活用型デマンド交通の導入を提案

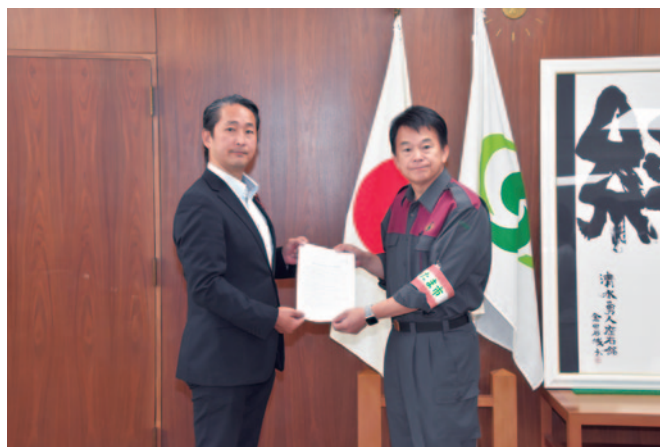
答弁 交通空白地域の解消に有効であり、重要政策として取り組むべき課題であると認識しており、導入に向けた検討を進めてまいります。

AI活用型デマンド交通とは？

決まったダイヤはなく、利用者のリクエストに応じ、適宜ルートを変えながら運行するバスやタクシーなど。



清水さいたま市長に緊急要望



公明党さいたま市議会議員団は、被災者の声を「台風等大雨対策の強化を求める緊急要望」としてまとめ、台風19号の被災から3日後の10月15日に、清水さいたま市長に提出しました。要望書では、①床上・床下浸水した家屋の消毒要望に対応すること、②水路の浚渫、③国や県と連携した1級・2級河川の強靱化、④災害ごみの早期撤去・処分など11項目を提言。1日も早い復旧・復興を求めました。

